



東京でのふれあい 千駄木小学校との交流

1月11日、12日に仙南小学校5年生児童15名が東京都文京区立千駄木小学校を訪問しました。両校の交流は3年目となります。ことしの夏には、千駄木小学校児童18名が初めて仙南小学校を訪れました。

11日は3、5、6校時の授業に参加し、昼休みや放課後遊びでも交流を深めました。また、4校時には交流集会も行なわれ、秋田県や美郷町、仙南小学校の紹介をプレゼンしました。秋田弁クイズも好評でした。

12日は、地域支援部の方々のご尽力で千駄木小学校区内の図書館、スーパー、ドーナツ店で職場体験をし、地域の方々と触れ合いました。

2日間の日程で児童たちは、東京都の学校や地域の様子を感じ取り、改めて自分たちの地元である美郷町について考える良い機会となりました。



平成29年度 第4回学友館特別展 県展 第15回仙北地域展

1月20日から、県展 第15回仙北地域展が美郷町学友館にて開催されています。県展（秋田県美術展覧会）は、日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、デザインの7つの分野で構成された、県内最大の公募展です。第15回仙北地域展では、平成29年に開催された第59回県展で入賞・入選した美郷町、大仙市および仙北市の出品者の作品が展示されています。

開催は3月4日までです。ぜひご来場ください。



県内のチームが集結 第2回魁星旗争奪少年フットサル大会

1月20日から28日にかけて魁星旗争奪少年フットサル大会が、美郷総合体育館リオスを主会場として開催され、県内の81チームが参加し激闘を繰り広げました。

美郷FCスポーツ少年団からもAチームとBチームが参加し、Aチームが決勝トーナメントに勝ち上がりましたが、惜しくも優勝した仁井田レッドスターズに準々決勝で敗れました。



鶴の恩返しin MISATO JAL地域貢献活動ウィンターキャンプ

2月3日から4日にかけて「JAL地域貢献活動ウィンターキャンプ」が実施され、JAL社員20名が

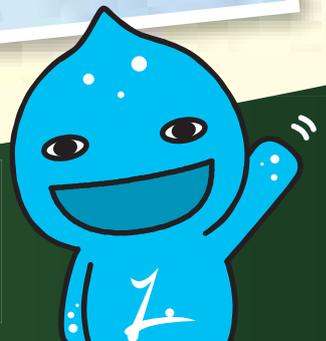
来町し、高齢者宅の除雪のお手伝いなど、地域住民と交流。また、2日目には坂本東嶽邸の視察や、天筆書き体験などが行われました。

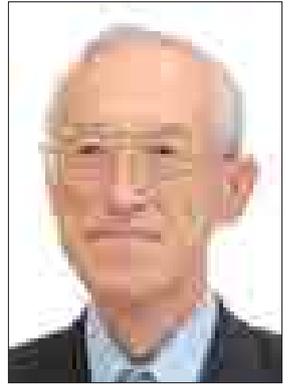


地域に貢献 一斉除排雪ボランティア

1月24日、2月14日に町内のひとり暮らし世帯等を対象に一斉除排雪ボランティアが実施されました。

美郷中学校、六郷高校の生徒から一般の方まで、2日間で延べ748人が参加したこのボランティアは、美郷町社会福祉協議会の主催で毎年行われています。





美郷町長 松田知己

美郷大使

町田 睿氏 逝去

美郷大使であり、フィデアホールディングス株式会社相談役で株式会社北都銀行会長の町田睿氏が1月30日にご永眠されました。

町田氏は、平成22年8月より美郷大使として、美郷町の風土、観光資源、魅力等について広く情報発信していただくなど、町の振興に対してご尽力いただきました。
生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。



■平成28年4月に行われた「美郷町まちづくりパネルディスカッション」に参加された町田氏

コラム 風

「将来の舞台に備えて」

先日、読売新聞日曜版に憲政の神様と呼ばれる政治家、尾崎行雄さんの言葉が掲載されました。「人生の本舞台は常に将来に在り」。解説に「慢心する者を戒め、失意の中にある者を奮い立たせる」とありましたが、なるほど、奥行きのある言葉だなと思いました。
私はこの言葉を目にし、ふとある方の顔を思い浮かべました。1月30日にご逝去された美郷大



六郷のカマクラにて餅まきをする松田町長

使の町田睿さんです。町田大使には、鑑賞用だった美郷雪華の特産品活用のきっかけを頂いたほか、会話の中で折に触れて、現状に満足せず卑下もせず、常に将来に向けた展開を求める大切さを教えられました。先の言葉と同質の示唆を、言葉を違えて話をしてくれていたものと思います。改めてご教導に感謝しながら、ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。
さて行政には、常に将来を見据えた視点や努力が求められます。それは今の展開が確実に将来の姿を形作るからです。とすれば私たちは、今という価値を理解し、将来に舞台があることを認識して努力を継続することが必要となります。従って、行政においては課題の無意味な先送りやその場凌ぎの判断と対応は、基本的に許されないものと私は思います。例えその対応が

いくら苦しくても、です。
美郷町は合併以来、一貫してこうした認識を大切にしてきたつもりです。今年度もその延長線で大きな課題3点に取り組んでおります。一つは各種団体等への補助金です。改めて公金支出の目的や使途の明確化を深めてまいります。もう一つは公共施設等の最適化です。合併後の公共施設再編とは違う視点での検討です。そして観光と物産に関する組織統合です。三本の矢よろしく、統合による力強さを求めます。すべて今月中に方針等を固めたい考えですが、みなさんには、変わることが守るべき本質の継承に繋がり、発展に向けた土台と可能性になることに、ご認識とご理解をお願いいたします。
やはり「○○の本舞台は常に将来に在り」という言葉、深いです。○○に企業と入れても成立しますし、健康や結婚と入れても成立します。さてさて、みなさんは○○に何を入りたいですか？選んだその言葉、今あなたが一番大切にしたい事柄ですね、きつと。